

# 望ましい勤労観を育む単元学習

～ 道徳の時間を中心に～

教科・領域 道徳教育

下関市立菊川中学校 2 学年

## キャリア教育の観点

この取組は、職場体験活動とその事前・事後学習として、道徳の時間を計画的に実施することで、望ましい勤労観の育成をめざしています。具体的なねらいは次の二つです。

- ① 思いがけない能力や適性を発見するには、出会った仕事、与えられた役割を果たそうと全力を尽くさなければならないという勤労観を育む。
- ② 社会的役割を担うことによって社会的承認が得られることに気付かせ、キャリア・アイデンティティの形成につなげる。

【課題対応力】【人間関係形成・社会形成能力】

## 単元のねらい

道徳の時間、職場体験学習、働く人の話を計画的に実施することで、適性、適職にこだわりすぎずに、出会った職業や与えられた役割に全力で取り組むことが、自分の能力を伸ばしたり、自分らしい生き方につながったりするという勤労観を養う。

また、社会的承認を得ることの重要性に気付かせ、キャリア・アイデンティティの形成を支援する。

## 単元の概略

6月12日 道徳の時間 資料『アキラのくじ運』

6月17日 働く人の話 石油やガスのプラント輸出にたざさわり、世界45カ国わって仕事をされた方の講話

7月18日 職場体験学習オリエンテーション、体験希望職業調査

10月 2日 道徳の時間 資料『加山さんの願い』

10月 3日 履歴書（自己紹介状）の作成

11月12日～14日 職場体験学習

11月21日 発表会

12月 4日 道徳の時間（校長による学年道徳）  
資料『天職』（川柳）



## 道徳の時間の概略

6月12日 『アキラのくじ運』 4-(5) 働くことの意義と喜び

資料概略 くじ引きによって、職場体験学習の体験場所が不本意な幼稚園になったアキラは、自分のくじ運の悪さを嘆くばかりで一生懸命取り組めなかった。ところが、先生の献身的な働きぶりや何気なく始めた「ねずみのしっぽ取り」ゲームを園長先生からほめられたことが、アキラの心情に変化をもたらす。いつしか「自分のくじ運に感謝」するアキラがそこにいた。

ねらい 自分のくじ運に感謝させたものは何かを考えさせることを通して、仕事をする意義や喜びに気付かせる。

中心発問 自分のくじ運に感謝させたものは何ですか。

10月2日 『加山さんの願い』 4-(5) 勤労と奉仕の精神

資料概略 訪問ボランティアを始めた加山さんだが、相手から冷たい反応を示された加山さんは訪問をおっくうに感じるようになる。ところがふとしたきっかけから自分のボランティアに対する構えが間違っていることに気付く。やがて、加山さんは「ちょっと行ってくるよ」と出かけていくようになる。

ねらい 加山さんの言葉を「行かなくては」から「ちょっと行ってくるよ」に変えたものは何かを考えさせることにより、奉仕のあり方、意義について考えさせる。

中心発問 加山さんの言葉を「行かなくては」から「ちょっと行ってくるよ」に変えたものは何ですか。

12月4日 『天職』 4-(5) 望ましい勤労観

資料概略 川柳「天職探して 転職し 今( )」(今無職)

ねらい 天職探して転職したら無職になった理由を考えさせることで、自分らしさに固執せずに出会った職業(仕事)に全力で打ち込むことが天職につながることに気づかせ、望ましい勤労観を養うきっかけにする。

中心発問 なぜ「天職を探す」と「無職」になるのですか。

## 考 察 ・ 課 題

本実践では、従来行われてきた「職場体験学習」と「働く人の話」を道徳の時間と計画的、発展的に組み合わせ、望ましい勤労観の育成につなげることをめざした。それにより、自覚できなかった価値観を深く自覚し、道徳的実践力につながると考えている。

キャリア教育に関わる全学年の取組と道徳の時間を効果的に関連付けることが、今後の課題である。